

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年4月16日(2015.4.16)

【公開番号】特開2014-223474(P2014-223474A)

【公開日】平成26年12月4日(2014.12.4)

【年通号数】公開・登録公報2014-066

【出願番号】特願2014-147010(P2014-147010)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月26日(2015.2.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技の進行制御を行うメイン制御手段と、  
演出を出力する演出出力手段と、  
電源投入時からの時間を計時する時間計測手段、  
演出状態を切り替える演出状態設定手段、  
前記演出状態設定手段により切り替えられた演出状態に応じた演出を選択する演出選択手段、

前記演出状態を、第1の演出状態から特定演出の実行のための演出状態である第2の演出状態に切り替える特定演出準備手段、及び、

前記演出選択手段により選択された演出及び前記特定演出を前記演出出力手段に出力させる演出実行手段を有するサブ制御手段と、を有し、

前記遊技の進行が所定時間行われていないことを契機として、待機演出を前記演出出力手段に出力可能であり、

前記演出選択手段は、前記演出状態が前記第1の演出状態であるときに遊技者に有利な特別遊技の実行可能性を示唆する所定の演出が選択される確率と、前記演出状態が前記第2の演出状態であるときに前記所定の演出が選択される確率とが相違するように構成され

前記特定演出準備手段は、前記演出状態が前記第1の演出状態であるときに、前記時間計測手段により計時された時間が第1の値になることを契機として、当該演出状態を前記第2の演出状態に切り替え、

前記演出実行手段は、前記演出状態が前記第2の演出状態であるときに、前記時間計測手段により計時された時間が第2の値になることを契機として、前記遊技の進行が所定時間行われていない状況であっても前記待機演出を前記演出出力手段に出力させずに、前記特定演出を前記演出出力手段に出力させることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 0 2 】

スロットマシンに代表される遊技機においては、遊技機の不稼働時間が一定時間経過したタイミングでデモ演出（待機演出）を実行するものが一般的に知られている。例えば、電源投入時からの時間と稼働していない時間とを計測し、稼働していない状態であって、計測している時間が特定の時間になるとデモ演出を行うように構成されたもの（例えば、特許文献 1 参照）や、ホールコンピュータから同期演出指示を送信し、その指示によって複数の遊技機で同期演出を行うもの（例えば、特許文献 2 参照）が知られている。

## 【 手続補正 3 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 0 4

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

## 【 0 0 0 4 】

しかしながら、従来の遊技機において、上述のようなデモ演出（待機演出）以外の特定の演出（特定演出）を実行させると、メイン制御手段における遊技状態に応じて実行される演出やデモ演出（待機演出）とこの特定演出との混同が発生してしまうという課題があった。

## 【 手続補正 4 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 0 6

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

## 【 0 0 0 6 】

前記課題を解決するために、本発明に係る遊技機は、遊技の進行制御を行うメイン制御手段と、演出を出力する演出出力手段と、電源投入時からの時間を計時する時間計測手段、演出状態を切り替える演出状態設定手段、前記演出状態設定手段により切り替えられた演出状態に応じた演出を選択する演出選択手段、前記演出状態を、第 1 の演出状態から特定演出の実行のための演出状態である第 2 の演出状態に切り替える特定演出準備手段、及び、前記演出選択手段により選択された演出及び前記特定演出を前記演出出力手段に出力させる演出実行手段を有するサブ制御手段と、を有し、前記遊技の進行が所定時間行われていないことを契機として、待機演出を前記演出出力手段に出力可能であり、前記演出選択手段は、前記演出状態が前記第 1 の演出状態であるときに遊技者に有利な特別遊技の実行可能性を示唆する所定の演出が選択される確率と、前記演出状態が前記第 2 の演出状態であるときに前記所定の演出が選択される確率とが相違するように構成され、前記特定演出準備手段は、前記演出状態が前記第 1 の演出状態であるとき、前記時間計測手段により計時された時間が第 1 の値になることを契機として、当該演出状態を前記第 2 の演出状態に切り替え、前記演出実行手段は、前記演出状態が前記第 2 の演出状態であるとき、前記時間計測手段により計時された時間が第 2 の値になることを契機として、前記遊技の進行が所定時間行われていない状況であっても前記待機演出を前記演出出力手段に出力させずに、前記特定演出を前記演出出力手段に出力させることを特徴とする。